

# グローバル人材に必要な資質・能力・考え方に関するアンケート

本アンケートは、日本学術振興会科学研究費助成研究

「**グローバル人材に必要な能力の構成要素の分析とそれに基づく評価ツール作成の試み**」

(16K13268)の端緒として、国際的な職場で働く方々にお願いしております。

このアンケートは匿名で行い、その結果は本研究のみに使用しますので、是非ご協力をお願いいたします。

結果は研究終了時(2019年3月)にウェブ公開致しますので、開示をご希望の方は、下記Eメールにご連絡下さい。

研究代表者 東海大学国際教育センター 松本佳穂子 [mkahoko@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:mkahoko@tsc.u-tokai.ac.jp)

このアンケートでは、皆様が「グローバル人材に必要な資質・能力・考え方」であると思われる度合いを項目ごとにクリックして頂きます。

3分の2の項目は常に多言語・多文化と接しているヨーロッパの公的基準に基づいておりますので、抽象的であったりあまり皆様の現実の状況とそぐわなかったりするかもしれませんが、将来そういう状況と遭遇する機会が増えるであろう若い世代が「グローバル人材」になるために必要かどうかという視点でお答えいただければありがたく存じます。

**まず、回答者ご本人について以下の質問にお答えください。**

年齢： 19歳以下  20代  30代  40代  50代  60歳以上

性別： 男性  女性

業界： 金融  商社  物流  製造業  ICT関連産業  サービス業  
 教育産業  小売業  政府機関  国際機関  その他

職種： 総務  人事  マーケティング  営業  経理  技術  研究開発  
 管理  顧客対応  公務員  国際協力  その他

職位： 一般社員  係長・課長相当  部長・本部長相当  トップ・マネジメント(社長・執行役員・専務・常務・副社長など)

英語使用頻度： たまに使う  時々使う  かなり使う  頻繁に使う  常時使う

海外駐在経験：  
国   
駐在の長さ 年

海外出張の頻度：年に約 回

英語学習歴：約 年未満

英語以外に使える外国語：

**では以下の質問に対して、そのような資質・能力・考え方がこれからのグローバル人材に必要なかどうかについて、下記の中からあなたの考えに最も近いものを選んでお答えください。**

質問01. 英語の基本的なルール(発音、文法、語法)や表現を十分習得している。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問02. 英語の習熟度判定テスト(TOEIC、英検など)のスコアが高い。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問03. 英語と英語圏についての歴史的、社会的、文化的な背景知識を持っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問04. 英語の運用能力が高く、様々な場面や状況に即したコミュニケーションができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問05. 英語には様々な変種があるため、英語圏だけでなく、他の地域で使われる英語の特徴を知っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問06. 外国語をできるだけネイティブ教員から学ぶこと。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問07. 英語以外の外国語の知識があり、その外国語で初歩的なコミュニケーションができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問08. 英語以外の外国語で、仕事がある程度こなせる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問09. 各言語は固有の構造や意味体系を持ち、複雑な関係性を持つので、直訳をしてもなかなか同じ意味にならないことを知っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問10. 言語は文化やアイデンティティーと深く関係し、コミュニケーション能力は複合的なもので、言語能力だけでは効果的なコミュニケーションができないことを知っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問11. 世界には、多言語・多文化が共存していたり、それらが緊張関係にあるような国や地域が多いことを知っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問12. それぞれの文化が複雑な価値観や規範を持ち、それが人々の世界観やものの考え方に影響し反映されていることを知っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問13. 異文化間のコミュニケーションでは、同じ行為や現象についても解釈が異なってしまうため、誤解が生じることを知っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問14. 文化は固定的なものではなく、接触やグローバリゼーションによって常に変容していることを知っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問15. 様々な言語や文化の勢力や広がりや違っても、それ自体に優劣はないことを知っている。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問16. 異なる言語や文化を自然に(違うのが当たり前のこととして)理解し受け入れることができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問17. 言語や文化の違いに対する抵抗や偏見を捨て、全く違うものが理解できない場合には、決めつけや単純化をせず「中間的な曖昧さ」として受容できる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問18. 仕事の場合だけでなく、常に他の言語や文化に興味を持ち、異文化コミュニケーションの状況に進んで入っていくことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問19. 全ての言語や文化が同等であるという考え方に立ち、仕事に関連性がなくても、様々な異文化との接触に意義や価値を見出すことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問20. 異文化を持つ人のアイデンティティーを自分と同等のものとして敬意を持って受け入れ、親密な関係を築くことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問21. 文化や価値観というものが、もともと相対的なものであるという視点から、自文化と異文化両方について客観的な判断ができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問22. 自分の文化的価値観に基づく先入観や安易な一般化を排して、自他両方の文化を批判的に見たり、自らの文化に対して一定の距離を置いた議論をすることができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問23. 異文化・多文化状況でのコミュニケーションで出会う障害を乗り越えるため、自分の立場を説明し、相手の文化を深く理解した上で問題解決の努力を、根気強く強い意志を持って行うことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問24. 異文化状況に試行錯誤しながら積極的に対応することで培ってきた「柔軟性」によって、新しい状況にも自信と余裕を持って対処することができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問25. 異文化コミュニケーション状況を構成する要素(=構成要素)を客観的に観察し、自分なりに理解・把握することができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問26. 異文化コミュニケーション状況の構成要素をカテゴリやジャンルに基づいて体系的に整理して分析することができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問27. 異文化コミュニケーション状況の構成要素を一貫した手順に基づいて比較し、類似点、相違点をきちんと把握することができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問28. 自分の言語や文化について客観的で適切な説明ができ、異文化に対しても、自分の意見や見解を十分に表現できる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問29. 外国語でのコミュニケーションにおいて、相手の言語や文化との違いを常に考慮しながら、相互理解に至るコミュニケーションを構築していくことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問30. 外国語でのコミュニケーションにおいて、これまでに得た知識と経験を活用しつつ、その場に最適なコミュニケーションの方法を選択することができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問31. 外国語でのコミュニケーションにおいて、過去に習得された言語(母語など)の知識や経験に基づいて、それと外国語の関係について自分なりの仮説を立てて、それを検証しながら適切な自己表現方法を試行錯誤で学んでことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問32. 自分の学び方が効果的かどうかを実際のコミュニケーションの中で振り返りながら、生涯を通じて外国語や異文化を継続的に学んでいける。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問33. 複雑な問題について客観的に理解し、全体像と個々の要素の関連性を的確に把握することができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問34. 複雑な要素を含む問題について、その要素を論理的に分析することができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問35. 問題の客観的把握・分析に基づいて、適切な判断を下すことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問36. 自分自身の意見を含めて様々な意見を批判的に見つつ、論理的な根拠に基づく最善策を提案することができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問37. さまざまな意見や性格を持つ仲間から平等に意見を引き出しつつ、皆が納得する結論を導くことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問38. 複雑な状況に直面した場合、自分の持つ資質や経験に基づく様々な方法を、失敗を恐れずに積極的に試してみることができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問39. ある目的や方向に向かって皆で努力をしていく必要があるような場合に、不満や反対意見を持つような人をうまく説得しながら、共通目標の達成を導くことができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

質問40. 達成すべき目的に対して、さまざまな手段を考え、戦略的に議論や行動をすることができる。  
 非常に必要  かなり必要  どちらとも言えない  あまり必要はない  必要はない

**ご協力ありがとうございました。今後のご活躍をお祈りしております。**